様式第２号（第６関係）

造血幹細胞移植後のワクチン再接種に関する主治医意見書

　小児がん等の治療を目的とした造血幹細胞移植（同種造血幹細胞移植に限る。）により、移植前に接種した定期予防接種ワクチンの免疫の消失の可能性が高く、ワクチン再接種が必要と認められますので意見書を提出します。

なお、再接種の必要性及び副反応については、被接種者に対し十分に説明をしています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 被接種者 | 氏　　名 |  |
| 住　　所 |  |
| 生年月日 | 　　　　年　　　月　　　日 |
| 申請者（保護者）氏　　 名 |  |
| 再接種が必要な理由（該当移植に○） | 造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植、さい帯血移植）により、接種済のワクチンの効果が期待できないため |
| 疾　　病　　名 |  |
| 移　　植　　日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 接種が可能となった日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 再接種が必要なワクチンの種類 |  |
| 記載年月日　　　　　年　　月　　日医療機関名所在地電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　　医師氏名　　　　　　　　　印 |

※注意事項

○本様式は造血幹細胞移植に係る治療における主治医等（本人の病状を把握し、ワクチン再接種の要否について御判断いただける医師）が記入してください。

○意見書の発行に費用が必要な場合は、助成の対象外となり、申請者の負担となります。